



附中だより

2019年6月27日

第6号

宮城教育大学附属中学校

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目4番1号 電話 022-234-0347 FAX022-234-0301 <https://fu-cyuu.miyakyo-u.ac.jp/>

市中総体を終えて

力丸 楓さん

中総体が終わった。あっという間の3日間だった。

1年生の時はあまり練習せず、ウォーミングアップの仕方も分からずにいたところを、先輩方に助けられ、教えてもらいながら何となく走った。2年経つと慣れたもので、天候に応じてアップの内容や時間を調整し、練習も体調にあわせて考えられるようになった。試合で同じ種目に出場する1年生に、少しだけアドバイスもできるようになった。少しだが、「成長できたかな。」と思う。

練習も2年前とは比べものにならないくらいやった。おそらく、それでも他校の生徒よりは少ないと思うが、自分なりに時間をやりくりし、休みの日も毎日走った。

笑いあり、涙ありの3日間だった。勝ち残れた喜び、もっとがんばれたかもしれないという後悔、自分だけが残ったというためらい、様々な感情を目の当たりにした。結果に対する感じ方は人それぞれだが、つらい練習を皆で乗り越えた思い出や、仲間の応援が、レース中背中を押してくれたのは事実だった。

県大会は、より厳しい闘いになる。乗り越えるためには、もっとたくさん練習してがんばらなければならない。でも、この苦しい時期ができるだけ長く続くように頑張りたい。努力した分だけ、良い思い出になる気がする。

受験の夏、私はもう少しだけ走っていたい。



栗名 正道さん

自分は、中総体に向けて2つの点を意識しました。

1つは、やはり「技術面」です。例を挙げれば、フォームの改善です。冬の期間でじっくりと改善し、限りある時間の中でも意識して速さを追究していきました。

もう1つは「精神面」です。これまでの自分は、あまり自信がなく、弱々しさがありませんでした。ですが今回はポジティブに、自信を持って戦うことができました。強化選手になり、精神力を鍛えられました。様々な出来事から、気持ちの面でも頑張ることができていたと思います。

県大会でも優勝して、東北大会、全国大会を狙い、自己ベストを大幅に更新するために、短い時間でもしっかり練習して、気持ちでも実力でも1番になれるように頑張りたいと思います。

